

題 材 名	家族がくらしやすい住まいの工夫		
内容・項目	C－(2) イ (C－(2)ア, (3)－ウ)		
指導時間	3時間		
題材のねらい (題材の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・住居を学習のまとめとして、自分の家族や将来の家族に合わせ、誰もが心地よく住むためには工夫をすることが重要であることに気づかせる。 ・ワークショップを通して「くらしやすい住まい」について意見交換することにより自分らしい住まいを考え出す楽しさを感じさせ、よりよい住まいづくりに向けた実践意欲を高めていく。 		
学習の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容
	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの計画(グループ) ・「家族が暮らしやすい住まいの工夫」の作成 	<p>1 テーマの決定(各グループ) テーマの例(地震対策, エコ対策, 防犯対策, 収納の工夫, 建物の構造上の工夫等) ・グループで決定したテーマに沿って、「暮らしやすい住まい」を各自追求するようにする。【かかわり】</p> <p>2 具体的な設定の決定(テーマに沿ったもの) 家族の設定→住まいの工夫→家具の工夫→もっと暮らしやすい工夫 ・具体的な設定は、設定した家族の要望に満足するように決めていくようにする。【意思決定能力】</p> <p>3 「暮らしやすい住まいの工夫」作成 雑誌や広告の切り抜き収集→画用紙にレイアウト→説明を入れて仕上げ→友人のコメント ・グループの友人と話し合いながら各自で作成し、仕上がり友人にコメントを書いてもらうようにする。【かかわり】</p>
	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いと発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、よかったところや改善点を話し合わせて、発表会の準備をさせる。 ・グループごとに発表をして、他のグループから意見や感想を言わせるようにする。 ・住居学習のまとめとして、各グループの発表から実際の暮らしの工夫・アイデアを知らせ今後生かすようにする。【学ぶエネルギー】
題材の紹介 と作品例			
準備・材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・住居・インテリアに関する広告, 住居関係の雑誌, はさみ, のり, 画用紙 		
<p>[本題材を考案するに当たって参考にしたもの] 技術・家庭科家庭分野の教科書</p>			